ポラリス・ホールディングス株式会社

2027年3月期第2四半期
決算サマリー

2026年11月13日

東証スタンダード上場｜証券コード: 3010

決算のポイント

1

2027/3期 上期業績

増収減益：新規出店で売上は成長

近畿エリア以外の既存ホテルは増収

売上高 **248億円** 前年同期比 **+18.4億円**（+8.0%）

営業利益 **20.8億円** 前年同期比 **▲5.2億円**（▲20.0%）

2

通期業績の見通し

通期業績予想・配当予想は変更なし

年間配当予想

10円

前期5円から倍増

3

事業成長

新規出店の契約獲得は好調

新規出店獲得件数（2026年4-9月）

20件

前年同期比 5倍

決算ハイライト（のれん償却前）

単位：百万円	2026/3期 2Q累計	2027/3期 2Q累計	増減額	増減率
売上高	22,988	24,823	+1,835	+8.0%
営業利益（注）	2,592	2,075	▲517	▲20.0%
経常利益（注）	2,005	1,513	▲492	▲24.5%
調整後中間純利益（注）	1,930	1,433	▲498	▲25.8%

注：営業利益以下の各段階利益は、のれん償却前の数値。
調整後中間純利益＝親会社株主に帰属する中間純利益＋のれん償却費＋法人税等調整額
決算短信（のれん償却後）の営業利益は1,423百万円（前年同期比▲26.7%）、親会社株主に帰属する中間純利益は484百万円（同▲55.8%）

ポイント①｜増収減益の主な要因

売上高：新規開業ホテルにより増収、国内既存運営ホテルは近畿エリアを除くと増収
営業利益：近畿エリアの減収及び運営費用の増加等により減益

売上高の増減要因（前年同期比、億円）

	前期	当期	増減	増減率
売上高	**229.9**	**248.2**	**+18.4**	**+8.0%**
新規開業ホテル（10ホテル）	**4.8**	**21.9**	**+17.0**	**4.5倍**
国内既存運営ホテル	203.6	205.0	+1.4	+0.7%
近畿エリア以外	173.1	180.3	+7.2	+4.2%
近畿エリア	**30.5**	**24.7**	**▲5.8**	**▲18.9%**
その他	21.5	21.3	▲0.1	▲0.6%

営業利益の増減要因（前年同期比、億円）

	前期	当期	増減	増減率
営業利益	**25.9**	**20.8**	**▲5.2**	**▲20.0%**
新規開業ホテル（10ホテル）	0.4	1.3	+1.0	3.5倍
国内既存運営ホテル	32.2	27.3	▲4.9	▲15.3%
近畿エリア以外	27.0	26.1	▲0.9	▲3.5%
近畿エリア	**5.2**	**1.2**	**▲4.0**	**▲77.0%**
その他	▲6.7	▲7.8	▲1.2	―

注：その他には、店舗閉鎖、ホテル投資事業、海外ホテル等が含まれる。

ポイント①｜国内運営ホテルの動向

インバウンドは中国訪日客の減少が影響したが、中国以外は引き続き成長
国内ホテルのRevPARは万博特需の反動があった近畿エリアが大きくマイナスだがその他はプラス

訪日外客の動向
（1-9月累計・前年同期比）

訪日客（全体）
▲3%
中国の減少が他市場の増加を上回る

訪日客（中国を除く）
+13%
韓国・台湾などを中心に増加

訪日客（中国）
▲55%
中国からの旅行者は大きく減少

RevPAR
（国内比較可能ホテル67ホテル・4-9月期・前年同期比）

国内67ホテル（全体）
▲0.6%
近畿エリアの減少が全体を押し下げ

近畿エリア以外
+5%
近畿エリア以外は前年を上回る

近畿エリア
▲25%
万博特需の反動と中国人客の減少

※訪日外客の出所：JNTO（日本政府観光局）
※RevPARは国内比較可能ホテル67ホテルが対象

ポイント②｜通期業績見通しと年間配当予想

事業環境は予断を許さないが、通期業績予想および配当予想は据え置き

通期の業績予想（据え置き）

売上高 **545億円**
上期実績 **248億円**
進捗率 45.5%

営業利益 **55億円**
上期実績 **20.8億円**
進捗率 37.7%

※営業利益はのれん償却前（決算短信の業績予想：4,200百万円）

株主還元

年間配当予想

10円 **前期5円から倍増**

配当性向50%以上が目標（調整後当期純利益ベース）

株主優待

毎年3月末時点の株主様へ保有株数（最低500株以上）に応じてグループの国内ホテルで使える宿泊割引券を贈呈

下期（2026年10月～2027年3月）のポイント

国内動向

アジア大会と熊本の復興需要が寄与
万博特需の反動は一巡

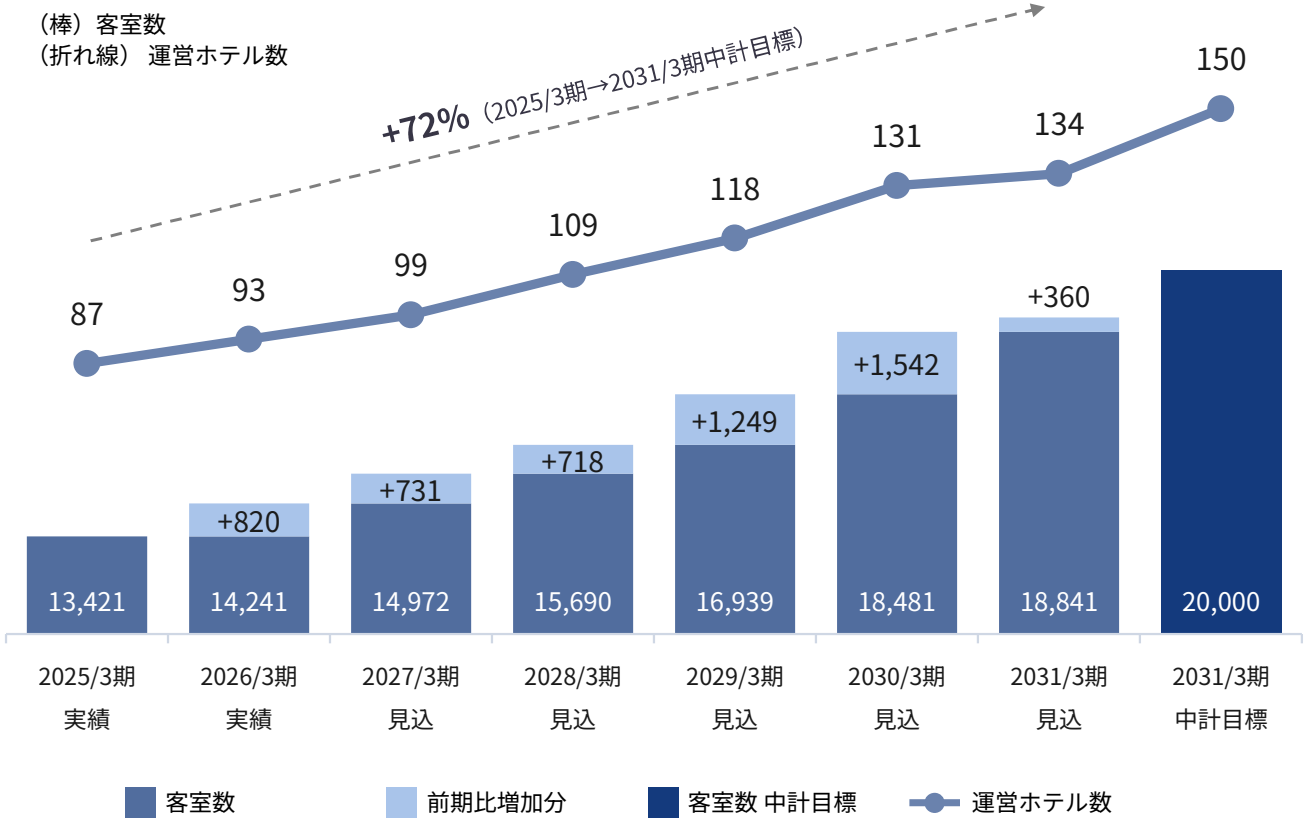
インバウンド動向

引き続き成長を見込むが、
中国人客減少の影響は続く見通し

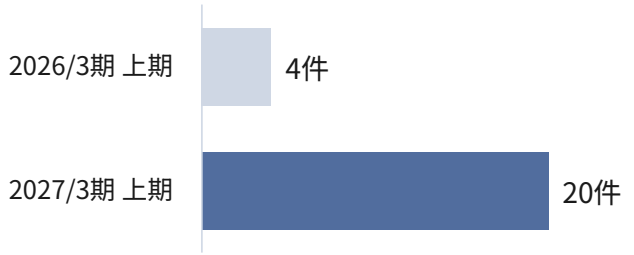
ポイント③｜新規出店の進捗

2027/3期上期の契約獲得は前年同期比で5倍と中計目標達成に向けて順調な進捗

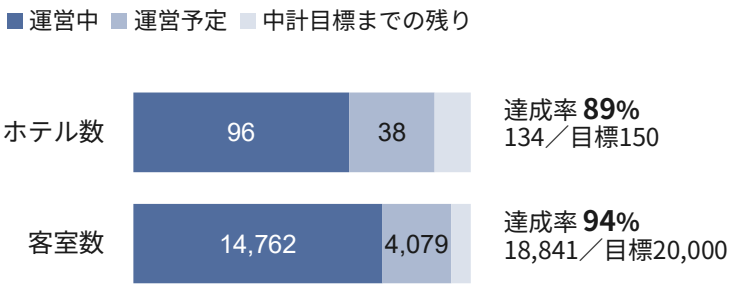
客室数・運営ホテル数の推移（2026年10月現在）



新規出店に係る契約の獲得件数



中計目標の達成状況（9月末現在）



※客室数・運営ホテル数の推移における2027/3期以降の見込み数値は、契約締結済みで詳細未開示のホテルを含む

旅に笑顔を。人生に彩りを。

polaris
HOLDINGS

IR情報は当社ウェブサイトをご覧ください
https://www.polaris-holdings.com/ir/

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。